

第2世代フェムテック機器を使用したフェムゾーンの自費診療

GSM/尿失禁/過活動膀胱/骨盤臓器脱/性機能改善治療/フェムゾーン美容

第1部 オンデマンド配信 2022年6月3日(金)～6月11日(土) 17:00

第2部 ZOOMライブQAセッション 2022年6月11日(土) 17:00～18:00

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、2022年度第2回目のFotona セミナーとして、「第2世代のフェムテック機器を使用したフェムゾーンの自費診療」に関するWEBセミナーを企画いたしましたのでご案内申し上げます

プログラムは、2部構成になっており、第1部は、今話題のフェムテックを使用した婦人科泌尿器科の自費診療について2021年度に開催されたFotonaセミナーの中から再視聴のリクエストの多かった講演を再配信、

第2部は、配信講演の演者の先生お二人に直接質問にお答えいただけるZOOMライブセッションとなっております。

また、第1部講演の再配信に関しては、より多くの先生にご視聴いただけるよう1週間のオンデマンド配信期間を設定しております。オンデマンド配信期間中には、予めご質問を受け付け、オンデマンド配信終了後のライブセッションにてご回答頂きます。また、当日ZOOMで直接質疑応答をいただく時間もお取りしてございます。フェムゾーン治療のエキスパートの先生方から直接お話を伺える貴重な機会となっております。ぜひご参加ください。

Fotona d.o.o. Slovenia 日本代理店 ハルテック株式会社 CEO 依田 キウエ
共催 婦人科・泌尿器科代理店 TMKメディカル株式会社



参加方法 参加費無料

① QRコード または下記登録用URLよりアクセスして登録申し込み

登録用URL : <https://tmkmedi.jp/entry>

事前登録は
こちらから



② 受付後、オンデマンド視聴用専用アプリのご案内とZOOMセッションのログインパスワードの発行

③ オンデマンドご視聴後、ZOOMセッションご参加

講演1

EBD機器導入による美容婦人科治療の発展

～インティマレーザー[™] & 高密度テスラ磁気刺激治療器インティマウェーブ[®]～



満行 みどり 先生

みどり美容クリニック・広尾 院長

講演2

インティマレーザー治療Ⅱ

～女性を笑顔にする最新治療プラスα～



宮崎 綾子 先生

W Femina Clinic 院長

Fotona社製 第2世代フェムゾーン治療器



StarFormer[®] IntimaWave[®]
高強度テスラ磁気治療器スターフォーマー

TimeWalker[®] IntimaLaser[™]
新型インティマレーザー

～プログラム～

第1部 アンコール講演オンデマンド配信 6/3(金)8:00～6/11(土)17:00

1. EBD機器導入による美容婦人科治療の発展

～インティマレーザー&高密度テスラ治療器インティマウェーブ～

演者 満行 みどり 先生 みどり美容クリニック・広尾 院長

美容婦人科は欧米では「Cosmetogynecology」と呼ばれ、アメリカでは1990年代後半からDr. Marco A. Pelosi II、Dr. Marco A. Pelosi III、Dr David Matlockらによって発展してきた。彼らは産婦人科専門医であるが、婦人科診療での問題と美容外科医の行う脂肪吸引術や腹部形成術などの標準的な美容整形手術とを組み合わせることで「Cosmetogynecology」という分野を発展させてきた。同時に彼らは様々な学会、研究会を設立しDr. Matlockが設立したLaser vaginal rejuvenation (LVR) institute of Americaでは世界40カ国以上の医師が参加した。現在では世界中に美容婦人科治療を目的とした様々な学会が存在し、また美容系の医学会でも女性器治療を専門としたセッションが散見されるようになってきている。

私自身は2010年にDr. MatlockによるLVRレクチャーを受けにいったことによりCosmetogynecologyを「美容婦人科」と訳し美容外科医としての経験を元に、同年美容婦人科治療を中心としたクリニックを開業した。さらに2013年ごろより様々なデリケートゾーン用EBD機器を導入したことで美容婦人科治療の幅がさらに広がっている。近年日本国内でも美容婦人科治療をメニューとして取り入れる施設が多くなると共に、SNSの発展やファッションの流行の波、フィットネスブームによって審美的な女性器形成の治療も広くニーズが高まっている。特にFOTONA社のSmooth Mode®は欧米、アジア、カナダ保険局などからも世界に先駆けて認可を受けているマシンであり、適応が多岐に渡る。デリケートゾーン脱毛やホワイトニングなどの審美的治療から膣弛緩、GSM(Genitourinary Syndrome of Menopause:外陰閉経関連尿路症候群)など機能的治療への使用で良い結果が得られている。

本演題では、これまでの外科的な治療がメインだった美容婦人科治療から、低侵襲の治療が普及してきた近年の治療を含めて海外のトレンドや日本での女性器形成～美容婦人科治療の変遷、現状について、自身の日々の臨床経験と共に紹介したい。

満行 みどり



2001年 国立佐賀医科大学医学部(現佐賀大学医学部)卒業
2003年 大手美容外科クリニックにて勤務後、横浜院院長、全国診療医長を歴任
2009年 THE CLINIC TOKYO 院長
2010年 みどり美容クリニック・広尾 開業
ダイオードレーザーによる美容婦人科治療「LVR(レーザー膣若返り術)」を開始
2012年 ラジオ波による低侵襲美容婦人科治療「ビビープ」を開始
2013年 Fotona スムースレーザーによる低侵襲美容婦人科治療「インティマレーザー」開始
2018年 フォトナ社 Laser and Health Academy (LAHA) 講師(現職)

2. インティマレーザー治療Ⅱ ～女性を笑顔にする最新治療プラスα～

演者 宮崎綾子 先生 W Femina Clinic 院長

インティマレーザーは、エルビウムYAGレーザーによる最新の婦人科治療用機器である。妊娠・出産・加齢・ライフスタイルの欧米化などにより、尿失禁・膣弛緩症に悩む女性は多い。また最近では「アンダーゾーンは第二の女性の顔」とも言われ、この部分のケアについて関心を持つ女性が増えている。インティマレーザーはこれら尿失禁を中心とする女性のアンダーゾーンの悩みを解決し、女性としてのQOLを回復させてくれるものである。しかし一方で本治療は自費診療であり、導入するにあたってはそのコスト・ベネフィットが気になるところである。今回はインティマレーザーの婦人科における役割とそのコスト・ベネフィットについて、我々が当院にインティマレーザーを導入した経緯と、導入後の経験を交えて報告する。

またインティマレーザー治療の第2報として、インティマレーザーの適応、特徴、実績、治療法、作用機序、合併症、他機種との比較、当院における導入経験、症例数、治療成績、反響などについても報告する。磁気を利用した超最新治療の導入についても報告する。

宮崎 綾子



2005年 近畿大学医学部 卒業
2007年 近畿大学医学部附属病院初期臨床研修終了
2007年 近畿大学医学部産婦人科学教室入局
2012年 医療法人ゆうあい会しんやしき産婦人科勤務
2014年 吹田徳洲会病院産婦人科勤務
2018年 医療法人涼葵会Wクリニック婦人科
2020年 インティマレーザー導入
2022年 医療法人涼葵会W FEMINA CLINIC 院長就任 スターフォーマー導入

第2部 ZOOMライブ QAセッション 6/11(土)17:00～18:00

オンデマンド中に寄せられた質問及び当日の視聴者の方からの質問に講演演者の先生がライブでお答えくださいます！(6/11(土)の回答者：満行 みどり 先生、宮崎 綾子 先生)